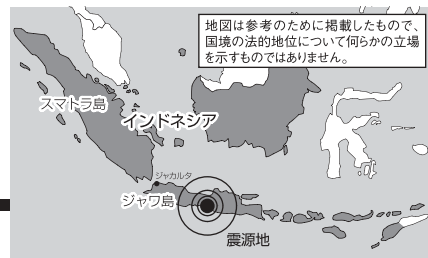


ジャワ島地震発生から3カ月 — 被災地の状況と支援活動



2006年5月27日早朝、インドネシアのジャワ島中部ジョクジャカルタ州を震源として、マグニチュード6.3の地震が発生しました。およそ5,800人が命を失い、約3万6,000人が負傷しました。(数字は6月4日現在)

©UNICEF/HQ06-0614/Josh Estey



震源地に近いジョクジャカルタ市南端のバントゥル地区の被害は最も深刻でした。多くの犠牲者が出たほか、約3,000戸の家が崩壊し、住んでいた人びとのほとんどが避難生活を余儀なくされています。



崩壊して瓦礫になってしまった家から物を探す女性 (バントゥル地区) ©UNICEF/HQ06-0618/Josh Estey



飛行機からトラックに積み替えられるユニセフの支援物資 (ジャワ島中部ソロ空港) ©UNICEF/HQ06-0620/Josh Estey

ユニセフの職員は地震発生後、数時間で現地に到着し、2日後には緊急物資の供給を開始しました。

ユニセフは、まず、食糧、水、衛生といった生きるために欠かせない支援を行いました。また、心に傷を負った子どもたちへのカウンセリングを行い、子どもたちが安全に遊べる場所を提供するために、子どもセンターを設置しました。同時に、親と離れ離れになった子どもたちが、人身売買や児童労働の犠牲にならないようにするための保護活動も行っています。



安心できる環境の子どもセンターで絵を描く子ども ©UNICEF/HQ06-0628/Josh Estey

地震で多くの学校が損壊しましたが、地震から2週間もたたないうちに、子どもたちはユニセフが配布した学校用テントで、勉強を再開することができました。

今回の地震の被災地の多くは、2004年のスマトラ沖地震・津波でも被害を受けた地域です。同地域では、7月17日にも地震・津波が発生し、さらに多くの人が命や家を失ったほか、ムラピ火山噴火という脅威にも晒されています。予断を許さない状況にある被災地の子どもたちが、一日も早く笑顔と安定した生活を取り戻すために、ユニセフは引き続き支援活動を行っています。

ジャワ島地震緊急募金にご協力をお願いいたします

郵便口座：00110-5-79500

口座名義：(財)日本ユニセフ協会

※通信欄に「ジャワ地震」とご明記ください

※送金手数料は免除されます

世界各地では、ジャワ島地震以外にも自然災害や紛争・政治的混乱など、さまざまな緊急事態が発生し、多くの子どもたちが支援を必要としています。各緊急募金の情報については、日本ユニセフ協会のホームページをご覧ください。

ホームページ：<http://www.unicef.or.jp>